

【施策評価調査】

施策名	1-1-3	宝積寺駅及び駅周辺整備事業		71	施策目的 政策「1-1. 計画的な市街地整備」を実現するためには、快適に暮らせるまちづくりの実現に向け、区画整理事業を計画どおりに実施すること、宝積寺駅周辺地区を整備し、利便性の向上を図ること、景観条例を制定し、良好な景観を形成すること、 ですが、そのうちの施策については、宝積寺駅周辺地域の機能性、快適性を向上させ、まちの玄関口としてふさわしい顔を備えた街にし、中心市街地の活性化という目的を達成するための核となる施設、という視点にたって整備を行います。
	担当部署	建設産業部	都市整備課		
環境変化	宝積寺橋上駅舎及び東西連絡通路整備事業が平成19年度末までで完成しましたが、建設ヤードと使用されていた、駐輪場整備と町道348号線歩道整備が平成20年度事業となった。				宝積寺駅は橋上駅とし、東西連絡通路と併せて平成19年度に完成します。平成17年度に完成した「ちよっ蔵館（ホール・多目的展示場）」、駅前緑地に隣接する道路も平成19年度に舗装を行います。まちの活性化に向けて、適切な土地利用や良好な景観が形成されるよう適切な指導を行います。（「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋）

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：橋上駅及び関連道路の進捗率(%)	平成16年度進捗率	計画	97.7%	100.0%	100.0%		
	橋上駅舎・東西連絡通路	実績	56.80%	99.0%	100.0%		
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	1,120,263,000	991,547,000	24,879,000	55,047,155	17,530,000
決算	654,180,763	971,020,201	24,045,754			

事務事業事前評価 21年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)		
ちよっ蔵広場指定管理委託事業費	H21 現計 11,830,000	ちよっ蔵ホールの利用状況	ちよっ蔵広場を市街地の拠点として位置づけ、施設の低コストを目標に施設の管理を委託します。	今後の方向性(総合評価)	継続
	H22 計画 11,830,000				
宝積寺駅東西連絡通路指定管理委託事業費	H21 現計 5,700,000	利用者の増員	高根沢町の玄関口と位置づけ、ちよっ蔵広場と一体とし管理することで、利用向上につながるから施設の管理を委託します。	今後の方向性(総合評価)	継続
	H22 計画 5,700,000				
宝積寺駅周辺整備事業費	H21 現計 0	用地取得完了	都市計画道路予定地である当該土地を取得することで、計画的な市街地の形成に寄与する。	今後の方向性(総合評価)	継続
	H22 計画 37,517,155				
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)	
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)	
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)	

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性	現状水準維持	駅東口についてはハード面の事業が完了したことから、今後はTMOを主体とした交流、賑わいや街並みの形成等、中心市街地の活性化に向けて、側面的な支援を行うこととする。また、施設整備後の検証を行い、他の施策等との連携を図り、駅周辺のグランドデザインを策定する必要がある。
総合評価	総合評価 東口整備後施設の管理・運営等継続的に施策展開されていると評価する。整備後の利便性の向上等成果に関する検証、側面的な支援を引き続き行うとともに駅周辺整備については、しっかりとしたグランドデザインを策定してから事業を推進することとし、後期計画に向けて当施策の方向性は再考すること。		